

# 個別支援計画書

レモンバーム

利用児氏名：〇〇 〇〇（〇〇〇〇年〇月〇日生；〇歳〇ヶ月）

作成年月日： 2025年 11月 29日

担当者名：〇〇 〇〇

利用児及び家族の生活に対する意向	<ul style="list-style-type: none"> <li>お友だちと楽しく遊びたい。（本人）</li> <li>発音が、はっきり言えるようになって欲しい。（保護者）</li> <li>机に向かって座っていられるようになって欲しい。（保護者）</li> <li>入学に向けて、ひらがなを覚えられるようになって欲しい。（保護者）</li> </ul>	
総合的な支援の方針	言葉で上手く伝え、周りの人とのコミュニケーションが上手に出来るように支援します。	
長期目標 (内容・期間等)	活動の中で、気持ちを切り替え、落ち着いて取り組めるようにしましょう。	支援の標準的な提供時間等 (曜日・頻度・時間)
短期目標 (内容・期間等)	発音がはっきり言えるようになり、他者とのコミュニケーションをスムーズに出来るようにしましょう。	月曜日・金曜日 15:40～ 木曜日 14:20～ 10日 (50分)

## ○支援目標及び具体的な支援内容等

項目	支援目標 (具体的な到達目標)	支援内容 (内容・支援の提供上のポイント・5領域（※）との関連性等)	達成時期	担当者 提供機関	留意事項 (本人の役割を含む)	優先順位
本人支援	気持ちを切り替え、落ち着いて、活動に取り組みたい。	療育者の指示が理解出来、落ち着いて活動に参加出来るように支援します。楽しく身体を動かし体幹を育てたり、手先を使うような制作を取り入れるような活動を行い、支援します。 机に向かって、集中出来るように支援します。	運動・感覚 健康・生活 認知・行動 言語・コミュニケーション	4ヶ月後 保育士 児童発達支援管理責任者	専門的支援実施加算：月4回の頻度を想定し、担当者とのやりとりを楽しむ。	2
本人支援	お友だちとのコミュニケーションが、上手く出来るようになりたい。	言葉で上手く伝え、療育者やお友だちとコミュニケーション（関わり）が出来るように支援します。 自分の気持ちを通そうとしたり、気持ちが上手く切り替えれない時は、療育者が寄り添い、落ち着けるように支援します。	人間関係・社会性 認知・行動 言語・コミュニケーション	4ヶ月後 保育士 児童発達支援管理責任者	本児が、理解出来るような声かけをしていく。 個別での取り組みが小集団でも行えるように、職員と情報共有を行う。	1
本人支援	療育者や友だちとのやり取りの中で、自分の思いを言葉で伝えられるようになりたい。	言葉が、はっきり言えなかった時は、両者の気持ちを代弁し、分かりやすい言葉で、ゆっくり伝えていきます。	認知・行動 言語・コミュニケーション	4ヶ月後 保育士 児童発達支援管理責任者	口の体操など取り入れながら、楽しく発声練習をしていく。 保護者に具体的な接し方など伝える時間を設けます。	3
家族支援	事業所での様子や家庭での困り感などを話し合います。	面談時に当事業所での様子を丁寧に伝えるとともに、家庭での様子を聞き取り、情報を交換するとともに、保護者の方の心配ごとへの助言を行います。 送迎が難しい場合は、レモンバームが行います。		4ヶ月後 保育士 児童発達支援管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てサポート加算：月1～2回の頻度を想定し、担当者との具体的なやりとりを伝えながら、家庭での実践の様子を踏まえたフィードバックを行う。</li> <li>家族支援加算（I）：月1回、当事業所での様子を伝え、次月のプログラムの説明をします。</li> <li>家族支援加算（II）：月1回の頻度で子育てに関する相談をグループワークにて実施。（レモンの会）</li> </ul>	
移行支援	園での姿を知り、連携が図れるようにします。	必要に応じて幼稚園を訪問し、園の連絡と当事業所の連絡内容を相互に確認し、日々の様子を聞き、三者で共通認識を図ります。		4ヶ月後 児童発達支援管理責任者 〇〇〇幼稚園 園長先生、 主任先生、△△先生 学校教育課	保護者の意向も確認しながら、三者で連携を図る点に留意する。（行事のスケジュールの共有も含む。） 就学に向けて、学校教育課の方と共有していく。	
地域支援 ・ 地域連携	本人が利用する相談支援事業所からの情報に基づき、具体的な場面での関わり方の提案や関わり方のポイントについて助言を行います。			4ヶ月後 児童発達支援管理責任者 支援担当者 相談員 (〇〇〇 〇〇さん)	本人の事業所での様子を見る機会を作っています。	

※5領域の視点「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」

○身体拘束について □椅子での着席・気持ちの切り替えを促す：身体を抑えたり、別室で療育者と一緒に過ごす時もあります。

※上記にチェックした事例に関して必要最小限の範囲内で行います。

提供する支援内容について、本計画書に基づき説明しました。

本計画書に基づき支援の説明を受け、内容を同意しました。

児童発達支援管理責任者

〇〇 〇〇〇 印

年 月 日 (保護者署名)